

関係各位

国際空手道連盟総本部
極真会館手塚グループ
埼玉県師範 與川正樹

令和 5 年度関東空手道選手権大会 開催のご案内

拝啓 時下ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
平素より格別のご支援ご協力を賜り誠に有難うございます。
さて、この度令和 5 年度関東空手道選手権を下記のとおり開催することになりましたので
ご案内致します。本大会開催にあたりましては多数のご参加をいただきますよう、宜しく願い申し上げます。
敬具

記

- 1 開催日時 令和 5 年 9 月 18 日(祝日) 12 時選手集合 13 時開始
- 2 会場 松伏町 B&G 海洋センター 2 階武道場
埼玉県北葛飾郡松伏町ゆめみ野東 3-14-8 ☎048-992-1291
- 3 クラス ○小学 1 年男子の部 ○小学 2 年男子の部
○小学 3 年男子の部 ○小学 4 年男子の部
○小学 5 年男子の部 ○小学 6 年男子の部
○小学 1・2 年女子の部 ○小学 3・4 年女子の部
○小学 5・6 年女子の部 ○中学 1 年男子の部
○中学 2・3 年男子の部 ○中学女子の部
○高校男子の部 ○高校一般女子の部

※申込状況によりクラスを統廃合する場合がありますので予めご了承ください。

- 4 参加費用 5,000 円
- 5 申込締切 令和 5 年 8 月 10 日(必着) ※締切後の受付は出来ません。
- 6 注意事項 ○身長、体重は正しく記載して下さい。虚偽の申告は失格とします。
○必要なサポーター類(ヘットガード)は各自でご用意下さい。(別紙「試合規約」参照)
○出場者の保険加入につきましては各団体にて徹底して下さい。
○申込は団体毎に取りまとめて提出して下さい。
- 7 送付先 〒343-0111
埼玉県北葛飾郡松伏町松伏 2691
国際空手道連盟極真会館手塚グループ埼玉県本部
師範 與川正樹
お問い合わせ 090-2643-8258 E メール kyokushinkaisaitama@icloud.com

令和 5 年度関東空手道選手権大会

出場申込書

(令和 5 年 9 月 18 日「祝日」松伏町 B&G 海洋センター)

国際空手道連盟総本部

極真会館手塚グループ

会長 森 義道 殿

私儀、本大会のルールに従って正々堂々と技を競い合うことを誓います。

なお、試合中における事故ならびに負傷を負っても一切の異議申し立てを致しません。

令和 5 年 9 月 18 日			
フリガナ 選手氏名 印		性別 男・女	保 護 者 氏 名 印 (選手が未成年の場合は保護者のサインをお願い致します)
住所 〒		連絡先 TEL	
段級位	年齢	学年	
空手歴	身長	体重	
	年	c m	k g
出場希望の クラスに○ を付けてく ださい	・ 小学 1 年男子 ・ 小学 2 年男子 ・ 小学 3 年男子 ・ 小学 4 年男子 ・ 小学 5 年男子 ・ 小学 6 年男子 ・ 小学 1, 2 年女子 ・ 小学 3, 4 年女子 ・ 小学 5, 6 年女子 ・ 中学 1 年男子 ・ 中学 2, 3 年男子 ・ 中学女子 ・ 高校男子 ・ 高校一般女子		
所属団体	極真会館宮城県本部 ※支部(道場)が分かれている場合は、支部名(道場名)までご記入下さい。		
備 考(過去の大会実績等)			

関東大会試合規約

1 試合時間

◎1 回戦～準決勝、3 位決定戦
本戦 延長戦(マストシステム)
◎決勝戦
本戦延長戦再延長戦(マストシステム)※

(1)本戦

ア 小学 1.2 年	本戦 1 分	延長 1 分
イ 小学 3.4 年	本戦 1 分 30 秒	延長 1 分
ウ 小学 5.6 年	本戦 1 分 30 秒	延長 1 分 30 秒
エ 中学生	本戦 1 分 30 秒	延長 1 分 30 秒
ウ 高校生	本戦 2 分	延長 2 分

○主審・副審は必ずどちらかに旗を挙げること。

○試合内容に優劣がなく、体格差が大きい場合は、体が小さい選手の方を勝者とする。

2 防具

クラス	ヘットガード	拳サポーター	膝サポーター	スネサポーター
高校生以上	任意	○	任意	○
中学生以下	○	○	任意	○

※ヘッドガード、その他は各自で用意すること。

※サポーターは、布製とする。(ウレタン製品等は不可)

※男子選手は、ファールカップを着用すること。

※女子選手は、チェストガードとアンダーガードの着用(プラスチック製品は不可)

3 勝者の決定

(1)一本勝ち

(2)技有り 2 本による合わせ一本勝ち

(3)判定勝ち

(4)相手選手の失格又は棄権による勝ち

4 一本勝ち

(1)反則箇所を除く部分へ、突き・蹴り・肘打ち等を決め、相手選手を 3 秒以上ダウンさせるか戦意を喪失させた場合

(2)技有りを 2 本取った場合

5 技有り

(1)反則箇所を除く部分へ、突き・蹴り・肘打ち等を決め、相手選手が一時的にダウン若しくは戦意喪失し 3 秒以内に立ち上がった場合（ヘッドガード着用の場合は、蹴り技が的確にヒットしダメージを受けられるもの

(2)足掛け技を含めて、ダウンした相手選手にタイミング良く下段突きを決めた場合

6 判定

(1)一本勝ち・失格がない場合は、主審・副審のうち過半数の旗を有効とする。

判定の優先順位は次のとおりとする。

ア

技有りがある場合は、技有りを取った方を勝ちとする。

イ

減点がある場合は、減点を取られた方を負けとする。ただし、試合内容で相手を大きくリードした場合は引き分けもあり得る。

ウ

注意 1 の場合は、判定への影響はない。ただし、延長戦(決勝戦の場合は再延長戦)で試合内容が全く互角の場合は、注意を取られた方を負けと判断する。

エ 技有り、注意がない場合はダメージを優先し、ダメージがない場合は有効打を含めた手数・足数を優先する。

(2)判定で主審・副審のうち過半数の旗が挙がらない場合は、引き分けとし、延長戦を行う。

(3)延長戦(決勝戦の場合は再延長戦)では、マストシステムによる判定で勝者を決定する。

7 反則

(1)手、肘による顔面及び首への攻撃

(2)金的への攻撃

(3)頭突きによる攻撃

(4)倒れた相手への直接攻撃

(5)背後からの攻撃

(6)相手の首から上へ手掛けした場合

(7)相手の道着、手足を掴んだ場合

(8)相手を掌底で押した場合

(9)技の掛け逃げを再三繰り返した場合

(10)何度も場外へ逃げた場合

(11)その他、審判が特に反則とみなした場合

8 注意

反則に対しては、故意・悪質なものを除き注意を与える。

悪質な応援に対して、主審は注意を与える権限を持つ

9 減点

- (1)注意を2回与えられた場合
- (2)故意・悪質な反則とみなされた場合
- (3)審判の判断により、悪質な試合態度とみなされた場合

10 失格

- (1)減点2となった場合
- (2)試合中、審判の指示に従わない場合
- (3)粗暴な振る舞い、特に悪質な反則、特に悪質な試合態度とみなされた場合
- (4)見合ったままの状態でも1分以上経過した場合。この場合は、戦意喪失として両選手とも失格とする。
- (5)出場時刻に遅れた場合又は出場しない場合

11 留意点

判定に対する抗議は一切認めない